

地域の景観向上に一役

遊佐組 道道清掃活動

【帯広発】(株)遊佐組(池田、遊佐俊治社長)は11日、道道帯広浦幌線の池田大橋

で恒例の清掃活動を行った。遊佐社長をはじめ役員16人が参加。町のイメー

ジアップにつながるよう、橋の美観向上に汗を流した。

利別川に架かる池田大橋は、池田町市街地の玄関口。夏の観光時期やお盆に

は多くの観光客や帰省客が利用する。夏の祭りの花火大会では、橋の歩道が格好

の見物場所にもなっている。しかし、夏場に入ると橋の歩道に雑草が生え、景観を損なう状態となっ

歩道部の雑草やごみを一掃



ている。

このため同社は、景観づくりサポーター企業登録の一環として、清掃活動を展開。活動はことしで12年目を迎えた。

11日は、遊佐社長ら16人が参加し、水分・塩分補給による熱中症対策を講じながら作業。スコップやほうきなどを使って歩道の除草を行ったほか、空き缶などのごみを回収し、橋周辺をきれいにした。

遊佐社長は「町の玄関口に当たる池田大橋を気持ち良く通行してもらいたい。地域のため、今後も活動を継続していく」と話していた。